

# 会長就任の ご挨拶



一般社団法人  
日本ダクタイトイル鉄管協会  
会長 久保 俊裕

本年9月の当協会臨時総会におきまして会長に就任いたしました、久保でございます。

協会誌「ダクタイトイル鉄管」の誌上を借りて、読者の皆様へ一言ご挨拶をさせていただきます。

当協会は、昭和22年の創立以来67年間にわたり、ダクタイトイル鉄管の普及促進および性能向上に努めてまいりました。普及促進活動としては、北海道、東北、関東、中部、関西、中国四国、九州の7支部を中心にしての技術説明会の開催ならびに各種イベントへの参画、また本協会誌やホームページを通じての技術情報の発信など、幅広い技術広報活動を進めております。その結果、全国上水道管路延長64万5千kmの内、57%の36万5千kmにダクタイトイル鉄管が布設されており、安全な上水道管路構築の重要な役割を担っております。また、性能向上においては、事業体の皆様の管路耐震化に対するご要望にお応えすべく、S形・SⅡ形に始まり、NS形、GX形と耐震継手管の開発・改良に努めてまいりました。最新のGX形ダクタイ

ル鉄管は平成22年10月に規格化され、平成26年8月末で既に4,293kmの出荷延長となっています。

私もかつて、当協会の運営や技術広報活動に参画しておりました。当時は、事業予算の減少に伴う合理化にも取り組んだ時代であったと記憶しております。このたび会長に就任するに当たって、組織、人が替わり、事業環境も激変していることを痛感します。しかし、一貫して変わらないのは、国民共通の財産である水道管路づくりをお手伝いし、安全で良質な水を安定的に供給できる水道システムを目指して、不断の技術開発を進めていくことがダクタイトイル鉄管に携わる者の使命だと言うことです。日本ダクタイトイル鉄管協会の会長として、技術開発や情報発信の取り組みをより強化していきたいと考えております。どうぞ、今後も当協会への変わらぬご指導とご支援をお願いいたします。